

 <p>おひめ 農業委員会だより</p>	令和6年7月
	第86号
	編集・発行 青梅市農業委員会 農政部会
	青梅市東青梅1-11-1 電話(0428)22-1111 内線:2349



6月15日、藤橋2丁目の水田において、農業委員会と西東京農業協同組合が共催する親子農業体験会(田植え)を行い、市内在住の親子14組33名が参加しました。

農業委員会から稲の植え方の説明を受け、いざ田んぼの中へ入ると、泥に足を取られながらも一列に並んで、みんなで田植えを行いました。

はじめはゆっくりと、次第に慣れて早くなり、約700㎡の水田一面に緑のラインができました。

参加者から「楽しかった」「次もぜひ参加したい」との感想をいただき、有意義な体験会となりました。10月12日には稲刈りを予定しています。

生産緑地地区の追加募集を行います。

令和7年度に生産緑地地区への指定を希望する農地等を募集します。

○事前相談(電話にて予約の上、お越しください)

期間：令和6年7月1日(月)から令和6年10月31日(木)まで

午前9時～午後5時(午後0時から午後1時、土曜、日曜日、祝日を除く)

場所：青梅市役所5階 都市計画課窓口

相談時に必要なもの：案内図、農地等の位置、面積および土地所有者が確認できる書類、公図写し

※生産緑地地区への指定には期間内の事前相談が必要条件となりますのでご注意ください。

○指定による制限および固定資産税等

指定された農地等は、適正な管理が義務づけられ、農林業以外に利用できません。令和8年度から固定資産税等に関する土地評価が変更されます。

○問い合わせ

都市計画課(市役所5階)

☎22-1111(内線2522、2523)

生産緑地の貸借ができます！

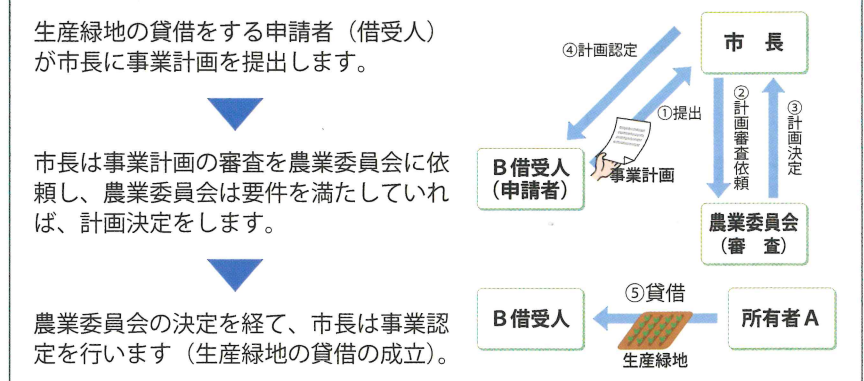
生産緑地が高齢や仕事等の事情で耕作できない人は、農業経営規模を拡大したい人に貸して、農地の有効利用を考えてみませんか？

この制度は、生産緑地の貸借を対象とする「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」により、相続税納税猶予制度の適用を受けている農地の貸借や貸借中に相続税が発生した時に、生産緑地の相続人は貸し付けたまま相続税納税猶予制度の適用を受けることができます。

また、生産緑地を10年以上賃貸借する所有者の方に東京都が奨励金を交付する事業が新たに創設されました。奨励金は1000㎡あたり20万円です。詳細につきましては、農業委員会事務局までお問い合わせください。

(青梅市役所内線：2349)

都市農地貸借円滑化法による貸借の手続き



生産緑地の農地貸借の事例紹介(～大野裕昭様・大野裕子様～)

今回は、都市農地貸借円滑化法を利用した生産緑地の農地貸借の事例として、農地を借りた大野裕昭様、大野裕子様ご夫妻にお話しをお伺いしました。

○就農のきっかけ

自分の子供に美味しい野菜を食べさせたいという思いから農業に興味を持ち、青梅市内の体験農園で農作業をしたり、農家でアルバイトを行う中で自分の仕事として農業を行いたいと考えました。

就農に向けて、瑞穂町の認定農業者である園主のもとで、露地野菜の栽培方法や管理方法および販売技術等の実習を経験したのち、令和5年6月に就農しました。

○農地を借りたきっかけ

きっかけとしては、新規就農をするために農地を探していましたが、なかなか見つからないため、東京都農業会議から希望にあった生産緑地の農地を紹介していただきました。

地主さんも借り手をちょうど探しているタイミングだったとのことでした。



農地を借りた大野裕昭様・大野裕子様

○これまでの営農状況と今後の計画

現在は、塩船と入間市の南峯で60アールの農地で露地野菜を多品目で栽培しており、おもに農協の直売所に出荷し、地産地消に貢献しているとのことでした。

今後は現在借りている農地の近くで、もう少し農地を増やしたいことと、現在借りている農地の中で効率的に栽培し、収量を増やすことを目指しているとのことでした。



大野裕昭様・大野裕子様が貸借した農地

○都市農地貸借円滑化法による貸借をして思ったこと

手続きを開始してから、農地を借り始めるまでは比較的スムーズでしたが、借りた土地のため、土づくりを行う必要があり、いつかは返還する農地にどこまで投資するべきかという迷いがありました。

しかし、5年や10年といった長い期間借りられるので、しっかりやろうという気持ちになりました。

農業経営者クラブ・農業委員会合同視察研修会を実施しました！

2月29日に青梅市の農業振興および市内農業者との交流を目的に、青梅市農業経営者クラブと青梅市農業委員会合同で視察研修会を実施しました。計21名で市内の5つの農家を視察し、各視察先で農家からの説明を聞きました。参加者の方からは「参考になった」「今後の委員活動に活かしていきたい」との感想があり、とても貴重な視察研修会ができたと思います。

～視察先の紹介～

① 石川和昭様・石川みさを様(和田町)

平成29年ごろから梅のジョイント栽培を夫婦で行い、梅郷、織姫、露茜などの品種を栽培し、JA西東京グリーンセンターを中心に出荷しています。



石川様のほ場視察の様子

② 野村亨様(小曾木)

平成30年に農地の一時転用の許可を受け、発電を開始し、下部でネギやジャガイモなどの露地野菜を栽培し、農業と太陽光発電のハイブリッド農業を行っています。



奥園様のほ場視察の様子

③ 奥園和子様(富岡)

海外生活で得た知識を活かし、ハーブや西洋野菜を栽培し、個人宅配を中心にネット販売、定期便や青梅市内の無人販売所などに出荷しています。

④ 清水寛久様・清水麻衣子様(今井)

少量多品目で年間約100種類の西洋野菜や伝統野菜を栽培し、マルシェ等を中心に出荷しており、お客様からの声を大事にしています。

⑤ 吉野花子様(新町)

新町地区でブルーベリーやレモンを中心とした果樹を栽培して、観光農園など多角的な経営を行っています。また、親子で農業経営を行っており、年間を通して生産量と売り上げ強化を目指しています。



吉野様のほ場視察の様子



梅の公園での集合写真

農薬だけに頼らないコナジラミ類の防除方法について

トマトやミニトマトは直売所で人気の作物で、消費者の需要が高く、生産の拡大が求められています。しかし、難防除害虫であるコナジラミ類による被害は大きく、薬剤散布回数が多くなる傾向にあります。

そこで普及センターでは、青梅市内のミニトマト生産ほ場で、農薬だけに頼らないコナジラミ類の防除資材として①黄色蛍光灯捕虫器 及び ②特殊模様付き粘着式捕虫シートの効果検証を行いました。

①黄色蛍光灯捕虫器

コナジラミ類が黄色の光に誘引される性質を利用した黄色蛍光灯捕虫器（光バイオ社製 GAC 型）（以下「黄色灯」という）を導入し、コナジラミ類防除効果を確認しました。

令和4年9月定植のほ場で、黄色灯を1アールあたり約1台設置した黄色灯区と、設置しない対照区に区分しました。施設内に発生調査シートを設置し、コナジラミ類の捕獲数を調査し比較しました。なお、薬剤散布については、両区とも同一の薬剤としています。

この結果、12月23日には対照区で187頭、黄色灯区で81頭と両区とも最も多くのコナジラミ類が捕獲されましたが、黄色灯区は対照区の2分の1以下に抑えられました（図1）。

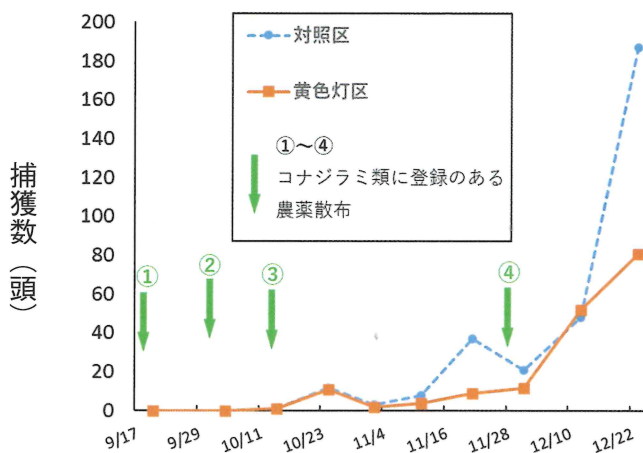


図1 発生調査シートでのコナジラミ類捕獲数
(令和4年9月定植)



写真1 黄色灯を設置したほ場

②特殊模様付き粘着式捕虫シート

コナジラミ類が光の明暗の境目に集まる習性を利用した特殊模様付き粘着式捕虫シート（商品名「ラスボスRタイプ」(大脇技研(株))）(以下「捕殺シート」という)を導入し、コナジラミ類防除効果を確認しました。

令和5年9月定植のほ場で、捕殺シートを1アールあたり50枚設置した捕殺シート区と、設置しない対照区に区分しました。施設内に発生調査シートを設置し、コナジラミ類の捕獲数を調査し比較しました。なお、薬剤散布については、両区とも同一の薬剤としています。

捕殺シート区の発生調査シートによる捕獲数は少なく推移しました。一方、対照区では、1月上旬に773頭が捕獲され、捕殺シート区との捕獲数の差が顕著になりました。

これらの結果から、黄色灯や捕殺シートは薬剤散布と組み合わせることで、効率的にコナジラミ類を防除できることが確認されました。

今回の事例では、導入費用は黄色灯が10アールあたり94,000円、捕殺シートが10アールあたり33,000円となりました。黄色灯の方が、導入費用は高くなりましたが、設置に要する時間は短くなりました。できるだけ設置費用を抑えながら一定のコナジラミ類防除効果が期待できるのに必要な設置数はほ場によって異なるため、設置に際しては予算やコナジラミ類の発生状況等に応じて調整する必要があります。

なお、コナジラミ類の防除は発生初期に薬剤散布することや、発生源となる雑草を防除することが基本となりますので、まずはできる対策から始めていきましょう。

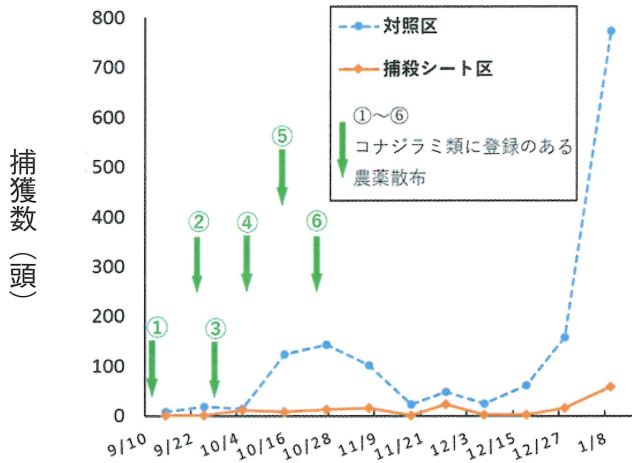


図2 発生調査シートでのコナジラミ類捕獲数 (令和5年9月定植)



写真2 捕殺シートを設置したほ場

委員会活動日誌

○各種委員会開催状況

(令和6年2月～令和6年6月)

◆農業委員会総会

第12回	2月26日	第13回	3月25日
第1回	4月26日	第2回	5月27日
第3回	6月25日		

◆農業委員会専門部会等

農政部会	5月27日
	6月25日
経営部会	3月25日

◆催事等

東京都農業委員会・ 農業者大会	2月15日
農業経営者クラブ・ 農業委員会 合同行政視察	2月29日
親子農業体験会 田植え	6月15日

◆市内会議等

担い手育成総合支援協議会	3月11日
農業振興地域整備促進協議会	3月11日

○委員会開催結果 (令和6年2月～令和6年6月)

○令和5年度

開催日	議案件数	会長専決 処理件数
第12回 (2月26日)	12件	18件
第13回 (3月25日)	18件	21件
第1回 (4月26日)	16件	22件
第2回 (5月27日)	11件	13件
第3回 (6月25日)	15件	30件

農業者年金に加入しましょう

次の3つの要件を満たす人は加入できます!

- ① 20歳以上60歳未満
- ② 農業に60日以上従事
- ③ 国民年金第1号被保険者



保険料は?月2万円～6万7千円のあいだで設定できます。
節税効果! 保険料が全額社会保険料控除の対象になります。
いつでも脱退可能! 1か月でも積み立てた保険料は受給OK。
申込みは?青梅市農業委員会または農協へ